

筑波社会科学研究

第23号

【研究論文】

英国における学校歴史の改革について野 口 剛 (1)

出荷戦略からみた大規模レタス産地の性格村 井 亜希子 (13)

法関連問題における正当で合理的な意志決定

— Street Law 教育におけるプライバシー学習の考察を通して—村 野 和 子 (23)

【研究会報告】

第22回研究大会報告 (39)

6月例会 (44)

【学会集報】

2003年度学会活動報告 (47)

教育研究科2002年度修了生 修士論文一覧 (48)

筑波大学社会科教育学会

2004

筑波大学社会科教育学会会則

- 第1条（名 称） 本会は筑波大学社会科教育学会と称する。
- 第2条（目 的） 本会は社会科教育に関する研究を行い、あわせて会員相互の連絡をはかることを目的とする。
- 第3条（活 動） 本会は、前条の目的を達成するために、次の活動を行う。
1. 研究会の開催
 2. 機関誌の発行
 3. 資料の収集・交換
 4. その他必要と認められるもの
- 第4条（会 員） 本会の会員は、筑波大学の出身者および本会の主旨に賛同する者で、所定の会費を納入した者とする。
2. 本会に賛助会員をおくことができる。賛助会員は、会の趣旨に賛同し、賛助会費を収める者とする。
- 第5条（本 部） 本会の本部は、筑波大学教育学系社会科教育学研究室におく。
- 第6条（役 員） 本会は次の役員をおく。
- 会 長 1名 副会長 1名 評議員 若干名
幹 事 若干名 会計監査 2名
2. 評議員および会計監査は総会において選出する。
 3. 会長および副会長は評議員会で選出する。
 4. 幹事は総会の承認を得て、会長が委嘱する。
 5. 役員の任期は2年とする。ただし、再選を妨げない。
- 第7条（役員の任務） 会長は本会を代表し、会務を統括する。
2. 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代行する。
 3. 評議員は評議員会を構成し、重要な会務を運営する。
 4. 幹事は幹事会を構成し、会長をたすけて会務を運営する。
 5. 会計監査は、本会の会計を監査する。
- 第8条（顧 問） 本会には顧問をおくことができる。顧問は総会の承認を得て会長が委嘱する。
- 第9条（会 議） 本会の会議は、総会、評議員会および幹事会とする。
2. 総会は毎年1回会長が招集し、会員の過半数の出席によって成立する。ただし、会員は委任状をもって議決権を他の会員に委任することができる。
 3. 必要ある場合、会長は臨時総会を招集することができる。
 4. 総会の議決決定は、出席会員の過半数をもって行う。
 5. 評議員会は、会長、副会長、評議員をもって構成し、会長の召集によって会務を審議する。
 6. 幹事会は会長が招集する。
- 第10条（会 計） 本会の経費は、会費、寄付金、その他をもってこれに充てる。
2. 本会の会費は総会で定める。
 3. 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月31日までとする。
- 第11条（会則の改正） 会則の改正は、総会の議を経なければならない。
- 付 則 この会の会則は昭和57年2月11日から施行する。

2003 (平成15年) 年度役員

会 長 谷川彰英 (筑波大学・教育学系)

評議員 飯島睦子 (東京), 石川透雄 (茨城), 石川裕之 (長野), 岩崎宏之 (元筑波大学・歴史人類学系), 宇都木宏一 (茨城), 大森 正 (東洋大学), 梶 哲夫 (元早稲田大学), 金子 巧 (広島), 上笹 恒 (元筑波大学・哲学思想学系), 唐木清志 (静岡大学), 川崎誠司 (東京学芸大学), 木村勝彦 (茨城大学), 木村健一郎 (創価大学), 後藤忠司 (兵庫), 斎藤宏夫 (栃木), 篠原昭雄 (アジア・アフリカ文化財団), 高山次嘉 (元早稲田大学), 竹下裕隆 (愛知), 田村和浩 (茨城), 溜池善裕 (宇都宮大学), 外池 智 (秋田大学), 二谷貞夫 (上越教育大学), 平岡可奈之 (神奈川), 藤沢 健 (岩手), 古山良平 (東京), 松岡尚敏 (宮城教育大学), 松川理治 (静岡), 松本 康 (香川大学), 三浦軍三 (東京学芸大学), 宮崎正勝 (北海道教育大学), 森茂岳雄 (中央大学), 横山十四男 (元東京家政学院大学)

会計監査 高野尚好 (帝京大学), 伊藤純郎 (筑波大学・歴史人類学系)

幹 事 井田仁康 (筑波大学・教育学系), 三野輪敦 (茨城), 井門正美 (秋田大学), 内田邦彦 (東京), 江口勇治 (筑波大学・教育学系), 桐谷正信 (埼玉大学), 小玉慎也 (秋田), 小森正明 (宮内庁), 竹中大剛 (厚生労働省), 谷川彰英 (筑波大学・教育学系), 田林 明 (筑波大学・地球科学系), 田村真広 (日本社会事業大学), 塚原直人 (東京), 永野広務 (神奈川), 菱山謙二 (筑波大学・社会科学系), 藤井千春 (茨城大学), 保坂秀夫 (埼玉純真女子短期大学), 真柴晶彦 (東京), 松本 敏 (宇都宮大学), 谷田部玲生 (国立教育政策研究所), 山本栄一 (神奈川), 李 明熙 (広州大学)

『筑波社会科学研究』編集委員

磯山恭子, 井田仁康, 江口勇治, 小野智一, 國分麻里, 熊田禎介, 齋藤之譽, 谷川彰英, 村野和子

(注) 中・高等学校教員の () 内は, 学校所在地の都道府県名を示している。

〈編集規定〉

- (1) 本誌は筑波大学社会科教育学会の機関誌であり、年一回発行する。
- (2) 本誌は本学会会員の研究論文、研究ノート、書評、研究会報告、学会彙報、その他会員の研究活動に関する記事を掲載する。
- (3) 本誌に論文その他を掲載しようとする会員は、所定の執筆要領に従い「編集委員会」宛に送付する。
- (4) 原稿の掲載は編集委員会の審議を経て決定する。
- (5) 掲載予定の原稿について、編集委員会は執筆者との協議を通じ、内容に変更を求めることがある。
- (6) 本誌に掲載された論文その他は原則として返還しない。
- (7) 執筆者による校正は第一校までとし、再校以降は原則として編集委員会の責任において行う。

〈執筆要領〉

- (1) 論文原稿は未発表のものに限る。(ただし、口頭発表、プリントの場合はこの限りではない。)
- (2) 編集委員会が特に枚数を指定する以外の原稿は、図・表などを含めて、原則として研究論文が400字詰原稿用紙40枚以内、研究ノートが30枚以内、実践報告が20枚以内、書評が5枚以内とする。
- (3) 原稿は、400字詰横書きとする。ワープロ原稿の場合、43字×37行横書きとする。ワープロ原稿は、フロッピーディスクを付するものとする。
- (4) 原稿には、必ず英文タイトルを添付する。
- (5) 原稿には、氏名(フリガナ)、所属(職名その他を含む)、連絡先を付記し、筑波大学社会科教育学会「筑波社会科研究」編集委員会宛に送付するものとする。
- (6) 図版等で特定の費用を要する場合、執筆者に負担させることがある。
- (7) 原稿メ切は毎年9月30日、発行は翌年2月11日とする。

筑波社会科研究 第23号

2004年3月31日 印刷・発行

編集 「筑波社会科研究」編集委員会

代表者 谷川彰英

発行 筑波大学社会科教育学会

会長 谷川彰英

事務局 茨城県つくば市天王台1-1-1(〒305-8572)

筑波大学教育学系 社会科教育学研究室

TEL 029-853-6729～31

振替 00350-4-7442

印刷 (有) 甲文堂

東京都文京区大塚1-4-7(〒112-0012)

TEL 03-3947-0844 / FAX 03-3947-0858

**TSUKUBA ANNUALS
FOR
SOCIAL STUDIES EDUCATION**

No.23 **2004**

CONTENTS

Articles

On the Reform of School History in BritainTakeshi NOGUCHI (1)

The Nature of the Large Lettuce-producing Areas in a View Point of Shipping Strategy
.....Akiko MURAI (13)

The Rightness and Reasonable Decision Making in Law-Related Problems ...Kazuko MURANO (23)

Research Conferenses (39)

Academic News

Academic Activities of the Association for the Social Studies Education in 2003 (47)

Titles of Master Theses Submitted by Graduate Students of the Social Studies Course,

Master's Program of Education in 2002 (48)

**THE ASSOCIATION FOR SOCIAL STUDIES EDUCATION
UNIVERSITY OF TSUKUBA**